

令和4年度学校評価自己評価表(当初)

	中間経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標（☆は取組指標，★は成果指標）	中間（10月）		最終（3月）		結果と課題の分析				
					指標評価	評価	指標評価	評価					
確かな学力（知）		学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い課題100%提出への組織的な取組 基礎・基本の確実な定着のための帯学習 各種検定の受検率と合格率を高める取組 	<ul style="list-style-type: none"> ☆全学年の英語検定，数学検定，漢字検定のいずれかの受検率を60%以上にすることを旨とする。 ★全国学力・学習状況調査において，国語，数学，理科で全国平均以上にする。 ★三次市学力到達度検査において全学年の各教科平均値を全国平均以上にする。 									
		活用力の向上 生徒が主体的に学ぶ授業	<ul style="list-style-type: none"> 「課題発見・解決学習」の質を高める授業の研究 英語科の5ラウンドシステムの実践的研究 I C Tの有効活用 組織的・計画的な授業研究 授業交流を学期1回行い，互いの授業を参観 	<ul style="list-style-type: none"> ☆一人一研究で，課題発見・解決学習を進める授業研究をする。授業交流週間で互いの授業を参観する。 ★英語科の5ラウンドシステムを実施する学級でのアンケートにおいて「英語の授業では，原稿などの準備をすることなく，即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合っています。」80%以上 ★生徒アンケート「授業では，自分の考えとその理由を明らかにして，相手に分かりやすく伝わるように発表をくふうしています。」を80%以上にする。 ★生徒アンケート「学習の振り返りをするときには，『どこまで分かったか』『学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由』を考えています。」を80%以上にする。 									
豊かな心（徳）		主体的な生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会の自主活動の推進 専門部会を中心とした課題発見・解決 いじめ0プロジェクトの継続・深化 	<ul style="list-style-type: none"> ★生徒アンケート「あなたは，生徒会活動に真剣に取り組みましたか」を90%以上にする。 ★生徒会活動で主体的に取り組んだことを書ける生徒を80%以上にする。 									
		集団の質的向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己指導能力と社会性の向上を図るための積極的な生徒指導 生活意識アンケート・デイリーライフ・班長会等から生徒実態を把握し，面談とS Cによるカウンセリングの実施 道徳的価値の自覚を深める授業 	<ul style="list-style-type: none"> ☆生徒アンケート・デイリーライフ・班長会等から生徒実態を把握し，面談とS Cによるカウンセリングを実施する。 ★生活アンケート「自分のよさは，まわりの人から認められていると思いますか」を90%以上にする。 ★i-checkで，いじめのサイン・対人ストレスを標準スコア50以上にする。 ★「道徳科」では，「『道徳の時間』の勉強はためになると思う。」を90%以上にする。 									
健やかな体（体）		基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携による三点固定（就寝時刻・起床時刻・家庭学習開始時刻）の取組 「ストップ9」の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ☆体力づくり計画による体育の授業の実施をする。 ★三点固定の取組を行い，定着率を75%以上にする。 									
		基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくり計画による体育授業の実施・新体力テストの課題種目の再実施 部活動（運動部）の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ☆体力づくり計画による体育の授業の実施をする。 ★新体力テストで，県平均以上の種目を70%以上にする。 ★生徒アンケート「部活動に主体的に取り組んだ」を80%以上にする。 ★生徒アンケート「生徒の部活動満足度」を80%以上にする。 									
信頼される学校		働き方改革を推進し，組織力を向上させ，「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の推進 組織的な学校運営の強化 不祥事防止研修の充実 小中一貫教育の発展 地域力を生かしたカリキュラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ☆働き方改革について研修の機会をもち，業務改善が進んでいるか学期に1回振り返りを行い，改善を進めていく。 ☆不祥事防止研修は，主任や主事，学年会で担当を決め，主体的な研修にする。 ☆小中一貫教育推進協議会を中心に小中合同研修会を開催する。 ★地域探究学習後の生徒アンケートで「ふるさと甲奴に誇りをもっている」の肯定的評価を90%にする。 									
					指標評価・評価	a・A	b・B	c・C	d・D	e・E			
					基準	100%以上の達成度	80%以上100%未満の達成度	60%以上80%未満の達成度	40%以上60%未満の達成度	40%未満の達成度			
						十分に目標を達成できた	概ね目標を達成できた	ある程度目標を達成できた	あまり目標を達成できなかった	目標を達成できなかった			